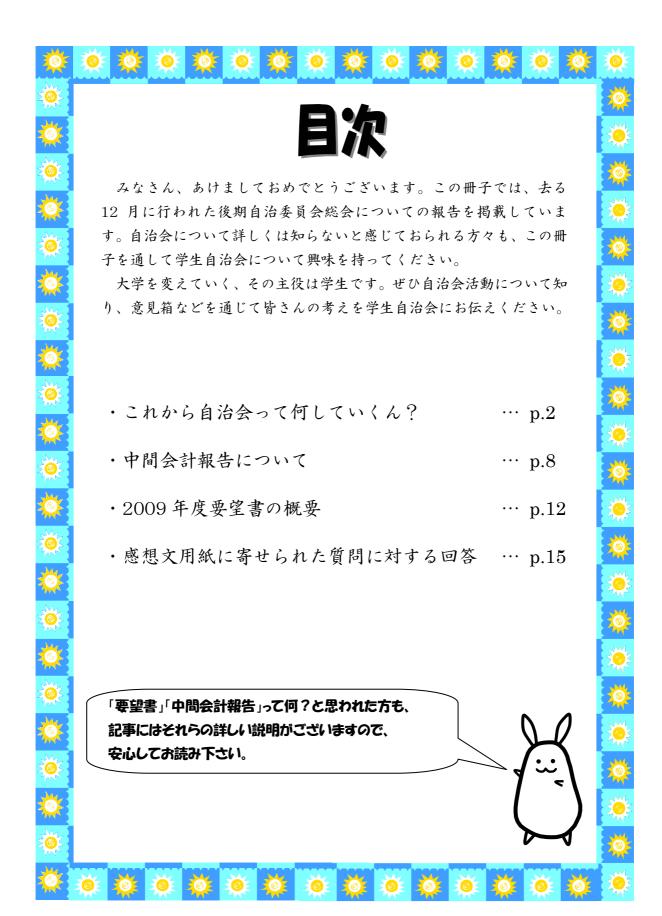
ASCA 自治急総合情報誌

2009年度後期自治委員会総会報告号



中百舌鳥キャンパス学生自治会





学生自治会は半年間、2009 年度後期自治委員会総会で承認された決議に基づいて活動をしていきます。決議とは、自治会の「これまでの活動」と「これからの活動」をまとめたものです。この記事では、自治会のこれからの活動について掲載します。また、この決議は自治会ホームページの自治会活動のページ(http://zichikai.ehoh.net/act.html)でご覧になることができます。何か分からないことがあれば、ぜひ自治会室までお越し下さい!!

◎再望書交渉について

学生自治会は、10 月上旬から 11 月下旬まで、学生が日頃から抱く要望を集めるために要望アンケートを実施しました。その結果、655 枚のアンケートを回収しました。そして、その集めた要望を基に、学生自治会は要望書案を作成しました。また、要望に具体性や説得力を持たせるために、要望の内容について調査を行い、結果をまとめた要望書資料を作成しました。そして、先日の 2009 年度後期自治委員会総会で要望書案が可決され、正式に要望書となりました。この要望書を用いて、大学と交渉することを「要望書交渉」といいます。



?これからどうするん?

これからは、主に以下の2つを行います。

- ① 要望書と要望書資料を用いて大学と交渉し、よりよい学生生活の実現をめざします。
- ② また、要望書に掲載しなかった内容も学生の実情を表しているので、寄せていただいた全ての意見を学費や施設などの項目ごとに分けて掲載した**「意見集」**を作成し、大学運営の参考にしてもらうために大学に提出します。また、生活協同組合にも同様の理由で意見集を提出します。

そして、この要望書に対する大学の回答を聞くことができるのが、「**零望書公開回答」**です。 公開形式で大学の回答を聞く事で、文書だけで大学の回答を受けるよりも、回答の意図や実情 を正確に知る事ができます。また、この場では担当者に直接質問することができ、学生と大学 の相互理解を深めることができます。昨年度は **81 名**の方々に参加いただきました。学生自治会 は、要望書に対する大学の回答を公開形式で行うことは有意義であると考えています。なので、 今年度も回答を公開形式で行えるように調整していきます。

◎大学改革に関する活動

2009年12月3日に大学は大阪府に対して「大学改革案」を提出しました。そこで、12月8日に学生団体会議の構成団体と学生センター長との間で話し合いを行いましたが、学生に対して事後承諾を求めるようなものであったため、大学改革案に対して学生が積極的に意見を発する必要があると考えました。そこで、この大学改革案に関してまとめた冊子を作成し、学生に配布しました。また、それにあわせてアンケートも実施し、学生の大学改革に対する意見を集めました。集めた意見を基に、大学改革に対する学生自治会の方針を決定し、今後の活動を決定します。

なお、12 月 21 日(月)に 01 棟学術交流会館で、学長による改革案の説明会が行われました。それにあたって、学生自治会では学生に対して説明会の情報宣伝を行い、参加を促す活動をおこないました。

○リんくうキャンパス移転に関する活動

これまで学生自治会は、りんくうキャンパスで学ぶ獣医学科 2 回生以上の学生も対象に活動を行ってきました。しかし、りんくうキャンパスと中百舌鳥キャンパスでは学生の置かれている状況が異なっています。そのため、りんくうキャンパスの現状を把握した上で活動を行うことが必要です。そこで、りんくうキャンパス学生会(仮)(以下、学生会)との話し合いを通じてりんくうキャンパスの現状を把握するなど、りんくうキャンパスでの活動を行うための情報収集を行ってきました。



?これからどうするん?

今後も、りんくうキャンパスで学ぶ獣医学科 2 回生以上の学生も対象に活動を行っていきます。また、引き続き月に一度の学生会との話し合いを行い、学生会への協力を検討するとともに、学生自治会がりんくうキャンパスでの活動を行うためのアンケートなどの方法による情報収集を進めていきます。そうして集めた情報をもとに、りんくうキャンパスでの学生生活をより良くすることができる活動を検討していきます。

◎情報宣伝·収集活動

自治会活動とは、よりよい学生生活を目指して学生全員で行うものです。そのため、学生のみなさんに自治会活動について詳しく知ってもらう必要があり、学生自治会も、学生が日頃から抱く意見をよく把握しておく必要があります。そのため、以下のような情報宣伝・収集活動を行ってきました。

△ 自治会総合情報誌「NASCA」

- →自治会活動に関する情報の他にも、新型インフルエンザへの対応など学生生活に有 益 であると考える情報も掲載しました。
- △ 立て看板、ビラ、ポスター、横断幕、B12棟1階の掲示板、昼の情報宣伝、WEBSC、ホームページなど
- →情報宣伝の効果を高めるために、ホームページを一部リニューアルしました。

△ 意見箱

→B12 棟タダコピ横や、C5 棟入口横に設置しました。



?これからどうするん?

今後も、学生自治会は自治会活動に対する関心を高めてもらうために『NASCA』や立て看板などの手段を用いて情報宣伝を行い、自治会活動に対する意見を学生の皆さんに発してもらうために意見箱や学生自治会のホームページ(http://zichikai.ehoh.net/)の掲示板やその他、新たな手段を検討・活用して情報収集を行っていきます。なお、学生自治会に寄せられた意見はすべて検討し、今後の自治会活動に反映させていきます。意見に対する回答は意見箱横の掲示板への掲示や、ホームページへの掲載を通じて発信していきます。

◎学生団体連絡会議

△ **学生団体連絡会議**···学生団体間で意見や情報を交換することや、単独の団体では解決が困難な問題に対処するために月に一度、学生団体間で行っている話し合いのことです。

★ これまでの話し合いの主な決定事項 ★	
4 月	第 36 回七夕祭実行委員会が発足。「学生と地域の方々が気軽に参加でき、多くの人に楽しんでもらえる地域に根ざした夏祭りとする」ことを目的に活動し、6 月 26 日(金)に第 36 回七夕祭を開催する。
10 月	第 28 回全学新歓実行委員会が発足。大学生活を始める上で新入生が抱く不安 を解消し、順調に滑り出せるような活動をする。

学生自治会は、地域住民と学生が交流できる七夕祭は学生にとって有益であると考え、学生 自治会室を活動場所として提供する、実行委員として自治会役員が参加するなどの協力をしま した。

△ **学生センターとの話し合い**…月に一度、学生団体と大学で協力してより充実した活動を行うため意見や情報を交換する話し合いのことです。

?これからどうするん?

今後も学生団体間で意見や情報を交換するために、月に1度学生団体連絡会議を行っていきます。毎年3月から4月にかけての新入生歓迎時期には、クラブやサークルなどの団体が勧誘活動を活発に行っています。しかし、中には度を過ぎた勧誘活動を行う団体も存在し、入学手続やカリキュラムオリエンテーションの妨げとなっています。そこで、来年の新歓時期を無事に終えられるように、学生団体間で話し合いを行い、情報の交換をします。



第 28 回全学新歓実行委員会は新入生を全学的に歓迎し、大学生活を始める上で新入生が抱く不安を解消し、順調に大学生活の滑り出しができるような活動を検討しています。学生自治会は、この活動を新入生の学生生活をよりよいものにする有益な活動だと考えています。そこで学生自治会は、活動場所としての学生自治会室の提供や、実行委員としての参加を通じて、全学新歓実行委員会に協力していきます。

今後も学生団体連絡会議の構成団体は月に1度、学生センターとの話し合いを行い、大学との意見・情報交換を行っていきます。

◎立て看板管理局

△ **立て看板管理局**…立て看板やステージバックは扱いを誤ると危険なため、安全に利用されるよう管理・運用を行っています。学生自治会、友好祭実行委員会、白鷺祭実行委員会で構成されています。

立て看板管理局は立て看板の利用団体にマニュアルを渡す、また強風時に立て看板を倒すなどして、立て看板の安全な管理・運用を行ってきました。

第61回白鷺祭本祭典では多くの立て看板が立てられる上に、立て看板の危険性を知らない一般の方が多く訪れるので、立て看板管理局は本祭典中に見回りを行い、強風の際には立て看板を撤去しました。その他にも、立て看板に人が近付かないように立て看板の周りに立ち入り禁止テープを張り、またフリーマーケットの出店者に注意を促すビラを配布しました。



?これからどうするん?

引き続き、立て看板管理局は立て看板やステージバックが安全に利用できるように管理・運用を行っていきます。

毎年、3月から4月にかけての新入生歓迎時期は多くのクラブやサークルが立て看板を立てるため、立て看板管理局では、新入生歓迎時期に向けて立て看板を立てる位置を割り振る場所割会議を行います。また、この時期は普段よりも多くの立て看板が立てられるため、場所割会議の場で、一層注意するよう喚起します。

第50回友好祭本祭典では、白鷺祭の時と同様に多くの立て看板が立てられる上、立て看板の危険性を知らない一般の方々が多く中百舌鳥キャンパスを訪れます。そのため、来年度の友好祭本祭典中に重大な事故が起こらないように、普段よりも一層の注意をする必要があります。そこで、立て看板管理局では白鷺祭と同様に、立て看板の見回りや立ち入り禁止テープの設置、立て看板への注意を促すためのビラの配布を通じて、立て看板の安全な管理・運用に努めていきます。

○大型 PA 再購八実行委員会

△ 大型 PA 再購入実行委員会…大型 PA とは、大学祭やクラブなどの活動発表の際に用いられるスピーカーなどの大型音響機器のことで、大型 PA の再購入を通じて、学生の課外活動を充実させ、大学内の文化的発展に努めることを目的に活動している委員会です。学生自治会・友好祭実行委員会・白鷺祭実行委員会・生活協同組合・白鷺音響企画共同体 S.T.A.F.-1・体育会・文化部連合の 7 団体で構成されています。

大型 PA 再購入実行委員会は 2010 年度に第 3 期再購入を控えています。この再購入を円滑に行うために月に 1 度定例会を行い、機材の現状を確認するなど再購入に向けて話し合ってきました。

?これからどうするん?

引き続き月に1度定例会を行い、第3期再購入が円滑に行えるように準備していきます。また、第3期再購入までに機材が消耗または故障し、修理や再購入をせざるを得ない状況になることも考えられます。その場合は、大型PA再購入実行委員会の積立金を使用する、もしくは後援会に援助を求めるなど、柔軟かつ迅速に対応していきます。

◎ステージ管理委員会

大学祭の企画や昼休憩時のクラブ・サークル活動のために頻繁に使われるステージは、学生 が課外活動を行う上で重要なものです。これまではステージの管理・運用は友好祭実行委員会 と白鷺祭実行委員会が行ってきました。しかし、ステージの老朽化が進むにつれて、痛んだ天板を取り替えてきましたが、今後ステージを新たに購入する必要があります。また無断でステージに上る学生がおり、日頃から正しい管理を行っていく必要があります。そこで、学生自治会・友好祭実行委員会・白鷺祭実行委員会の3団体でステージ管理委員会を設置し、ステージの補修や再購入を検討し、日頃のステージの管理・運用を行っていくことになりました。

ステージ管理委員会は 2010 年度にステージを再購入するために準備を進めてきました。しかし、鉄の値段の高騰により、予定していた金額よりステージが高価になり、積立金額を可能な限り増額しても購入できないことが分かりました。そこでステージ管理委員会は、文化部連合と後援会に援助を求め、行ってもらうことになりました。



?これからどうするん?

今後もステージ管理委員会は 2010 年度にステージを再購入できるように準備を進めていきます。また、ステージを正しく管理・運用するための手段についてステージ管理委員会で話し合い、検討していきます。

◎工学部教員紹介冊子

学生自治会では、「冊子を通じて工学部の学生に教員を紹介し、親しみを持ってもらう。また研究室に興味を持ってもらうことで気軽に研究室を訪れ、日頃から抱く意見を教員に伝えられるようにする」ことを目的に工学部教員紹介冊子を作成してきました。冊子が完成し、既に配付した学科もありますが、まだ冊子を作成中の学科がほとんどです。また、一部の学科では教員の協力が得られず冊子を作成することができませんでした。

?これからどうするん?

今後、学生自治会では冊子が完成し次第、各学科の1回生から3回生の学生を対象に教員紹介冊子を配布していきます。また、配布をする際には、教員紹介冊子に対するアンケートをあわせて実施し、今回のこの活動の効果を検証します。また、教員の協力が得られず、教員紹介冊子を作成する事ができなかった学科については、今後の対応を検討していきます。



◎人間社会学部新聞

人間社会学部新聞『人社's!』を昨年は発行しませんでした。人間社会学部には就職活動と並行して、教員採用試験や国家試験の勉強を行う学生が多く、それらの学生の不安を解消するために、就職活動について掲載したものを作成する予定でした。しかし、今年度就職活動を終えた学生がゲストとして参加する企業説明会が大学構内で行われ、経験者の体験談を聞く事が可能となりました。そのため、学生自治会は『人社's!』を通じて情報提供を行わなくても就

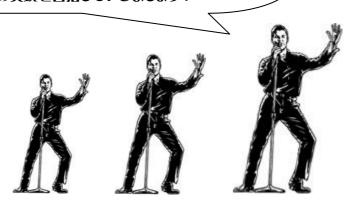


?これからどうするん?

今後、人間社会学部の学生がどのようなことに対して不安を抱き、どのような情報を必要としているのかを検討し、必要に応じて『人社's!』を発行していきます。

学生は教職員と同じく、大学の構成員です。学生が大学運営に対して意見を発することで大学をよりよくすることができ、ひいてはよりよい学生生活を実現することにつながります。

また、昨年 12 月に大学が本学の改革案を打ち出しました。私たち学生は、大学構成員の一人として、『改革が自分にどう影響を及ぼすのか』『もっといい改革方法はないのか』などを考え、意見を発する必要があります。そうして、共によりよい学生生活の実現を目指していきましょう!



中間会計報告について



はじめに

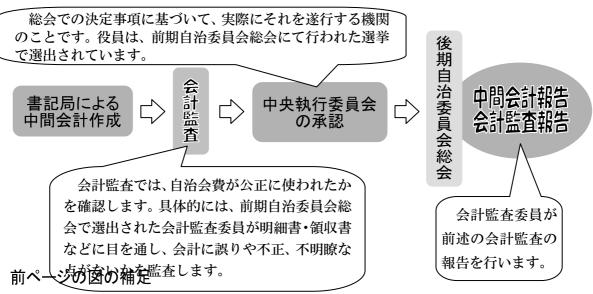
学生自治会は皆さんからお預かりした自治会費を使って活動しています。そのた め、どのように自治会費が使われたかを報告しています。2009年度中百舌鳥キャ ンパス学生自治会中間会計報告(以下、中間会計報告)では、2009年度前期自治 委員会総会から約半年間どのように自治会費が使われたかを報告しました。ここで は、中間会計報告を行うまでの流れと参加者にお配りした中間会計報告書の項目に 関して掲載します。*

また、中間会計報告に対して感想文用紙に多数の質問が寄せられましたが、それ らに対しては P.15「感想文用紙に寄せられた意見・質問に対する回答」に回答を 載せていますので、是非ご覧ください。

※ 金銭に関しては特に、正確な情報を伝える必要があると考えます。しかし、紙 面上だけではどうしても伝えきれない事柄もあり誤解を招く恐れがあるため、 執行額の具体的な数字は載せず、項目に関する説明のみを掲載します。執行額 やその他、この記事を読んでわからないことや気になることなど、何かありま したら、<u>お気軽にB12棟(学</u>生会館)2階学生自治会室までお越しください。詳 しい資料をお見せしながら担当者が説明します。

中間会計報告までの流れ

以下の図は、中間会計報告が総会で行われるまでの流れをあらわしています。



総会では会計監査委員によって会計監査の報告が行われ、自治会費が公正に 運用されているかが示されます。そして中間会計報告に関する参加者からの質 問に対して担当者が答える質疑応答の時間を設けることで、自治会費が学生の ために使われているかを学生の皆さんに確認していただきます。

会計項目

ここでは、参加者にお配りした中間会計報告書の全項目を紹介します。

収入の部

<自治会費>

皆さんから学生自治会への加盟費として入学手続き時にお預かりしたものです。 年1,750円×4年分(獣医学科は6年分)を一括してお預かりしています。

<利息収入>

自治会費を銀行に預け入れた際の利息です。

<印刷収入>

学生自治会室のコピー機の私的利用、及び印刷機の利用における使用料です。学生自治会は、 印刷機の利用により収入を得る考えはなく、印刷時に消費されたインク・トナー・マスターの 補充のために利用者から費用を徴収しています。

<OA機器購入費>

パソコンの部品などの購入に際して、毎年必要に応じて積み立てている「OA 機器購入費」から購入に必要な費用を収入に充てています。

<繰越金>

前年度からの繰越金です。

支出の部

- <執行費(全2項目)>
- ○中百舌鳥キャンパス学生自治会行事主催費 学生自治会主催の行事にかかる費用です。立て看板の新造・補修の費用をここから支出しました。
- ○クラスオリエンテーション費 2010 年度新入生を対象としたクラスオリエンテーションの際にかかる費用です。



〈援助金(全8項目)〉

学生団体への援助金です。各学生団体の活動が「学生生活をよりよくすることに繋がっている。 さらに、各学生団体が活動を行っていくためには学生自治会が行うさまざまな援助の他に、 援助金という形で金銭面の協力も必要である」と判断した場合に出しています。

項目は、「第61回白鷺祭実行委員会援助金」「第48回友好祭実行委員会援助金」 「文化部連合援助金」 「第36回七夕祭実行委員会援助金」 「大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科学生自治会援助金」「S.T.A.F.-1援助金」「S.T.A.F.-1援助分担金合計^{*}」 「第28回全学新歓実行委員会援助金」 です。

※学生自治会、白鷺祭実行委員会、友好祭実行委員会、文化部連合は S.T.A.F.-1 への援助を行っています。"学生自治会が援助している団体が別団体に援助する"という形になるので、便宜上、学生自治会が上記 3 団体から S.T.A.F.-1 への援助金をまとめて「S.T.A.F.-1 援助分担金合計」という形でS.T.A.F.-1 に渡しています

〈書記局費(全9項目)〉

○事務経費

模造紙、のり、ホッチキスの針など、事務用品の購入に充てられます。書記局費の以下の項目に当てはまらない諸費用もこの事務経費から計上されます。

○OA機器購入費

学生自治会が所有するパソコンの部品を購入するのにかかる費用です。

○OA機器諸経費

プリンタトナーなど、学生自治会が所有するパソコンの周辺機器の購入費です。

○備品

椅子・机・ロッカーなどの購入費です。

○印刷用紙

コピー機・リソグラフに使う印刷用紙の購入費です。学生自治会発行の冊子などに使われます。

○コピー・印刷機等維持費

印刷機のインク代やマスター代、コピー機のトナー代、保守経費をここから支出しています。

○新聞·書籍購入費

新聞・書籍の購入費です。学生自治会は情報収集のために新聞を購読し、必要に応じて保存しています。

○通信費

インターネット接続料金と電話料金です。学生自治会が所有しているパソコンは、ホームページ 管理や E メールの使用などの自治会活動のためにインターネットに接続しています。

○研修費

研修にかかる費用です。りんくうキャンパスへ赴く際の交通費をここから支出しました。

<積立金(全3項目)>

〇大型PA再購入実行委員会積立金

大型PA再購入実行委員会は、大型PAと呼ばれる大型の音響機器を再購入するために活動をしています。この項目は大型PA再購入のための積み立てにおける学生自治会の負担分となっています。

- ○次期コピー機・印刷機購入費 次期コピー機・印刷機を購入するための積立金です。
- ○ステージ管理委員会積立金

ステージ管理委員会における、学生自治会の負担分の積立金です。ステージ管理委員会は、ステージを管理・運用するための委員会です。学生自治会と友好祭実行委員会、白鷺祭実行委員会が共に委員会を設置し、平成22年度のステージ購入を目指して、上記3学生団体で積み立てを行うこととなりました。

※大型PA再購入実行委員会、ステージ管理委員会について詳しくは P.5 参照

おわりに

学生自治会は「学生と共に学生生活をよりよくする」ことを目的に活動しています。皆さんからお預かりした自治会費をこの目的に沿って運用するためには、学生の皆さんの声が必要です。そのため前期自治委員会総会では、自治会費の使い方を示す予算案に対して学生の意思を示す「採決」があります。しかし、日頃から学生の皆さんが学生自治会に意見を発し、質問することで、よりこの目的に沿った自治会費の運用が達成されます。是非、学生自治会に対して意見箱やホームページの掲示板を通じて、または学生自治会室に直接来ていただいて、皆さんの意見や質問をお寄せ下さい。

また、紙面だけでは学生自治会の会計について伝えきれないこともあります。気になることがあれば、是非学生自治会室にお越しください。担当者が会計に関する詳しい資料をお見せしながら直接説明します。



2009 年度要望書の概要

○要望書とは!?

要望書とは、学生の皆さんが学生生活を送るにあたり、学費や学内の設備など大学に改善して欲しいことをまとめたものです。この要望書は中百舌鳥キャンパス学生自治会が10月上旬から11月下旬にかけて行った要望書アンケートを基に作成しており、2009年度後期自治委員会総会にて承認されました。

○要望書の概要

I 学費に関する要望

1.授業料の増額を行わないこと

経済的な事情のために高等教育を断念せざるを得ない学生をこれ以上増やさないようにするために、授業料の増額を避けるべきであると考えました。また、今後の大学改革に伴い学費が増額されることも危惧しています。

2. 授業料の免除・減額制度の採用枠を維持すること

経済面で困窮している学生にとって、授業料を免除・減額する本学の制度は大変重要なものです。大学は、今後も採用枠を拡大し、家庭の経済状況を理由に府立大学での修 学を断念せざるを得ない学生を救済するべきであると考えます。

Ⅱ 講義・履修に関する要望

3. 受講申請期間を延長すること

専門科目や専門基礎科目、自由選択枠科目が重複して開講されている場合、受講する科目を選択する際に事前にそれぞれの講義を受けたいと希望する学生は多くいます。しかし、現状では、約1週間という受講申請の期間が十分でないために、学生が真に希望する科目を履修できない環境にあります。

4.(1)平日は図書館およびオープンスペースを 21 時まで開放すること (2)休日は図書館の開館時間を 17 時まで延長すること

勉学が本分である学生にとって、図書館は参考図書の閲覧やパソコンの使用ができ、また自習スペースとしても利用できるため、重要な施設です。しかし、学生の課外活動は21時まで認められている一方で、図書館は20時に閉館されています。大学は教育・研究の質を保障し、向上させるために更なる学習環境の向上に取り組む必要があると考えます。

5. 喫煙所を頻繁に利用される出入口から撤去、もしくは14メートル以上離して設置すること

府立大学では分煙化が進められています。しかしアンケートには 構内での受動喫煙に対する不満の声が寄せられており、実際には分 煙が徹底されていないことが明らかであります。その主な原因とし て、喫煙所を学舎の出入口付近に設置していることがあります。現 状では、学舎に出入りする際に嫌煙者は受動喫煙を避けることがで きません。



- 6.(1)不良備品、施設を修繕すること
 - (2)構内の危険箇所を整備すること
 - (3)学生や教職員から施設や設備、構内の老朽化や破損 に関する情報を収集し、随時修繕、整備すること



備品や施設は年々老朽化するため、その修繕や構内の整備は毎年行うことでよりよい 学生生活を送ることができます。そのため大学は、学生や教職員から備品や設備、構内 の老朽化や破損に関する情報を集め、随時修繕、整備する必要があると考えます。

Ⅳ りんくうキャンパスに関する要望

7. りんくうキャンパスの駐輪場を拡張すること

りんくうキャンパスの建設段階から駐輪スペースの不足が指摘されていました。現在、駐車スペースへの駐輪を認められていますが、駐車場もまた不足しています。そのため、この問題を解決するためには、駐輪場を拡張することが最も効果的であると考えます。

8.中百舌鳥キャンパスから参考図書を取り寄せられるようにすること

りんくうキャンパスにも図書室は存在しますが、中百舌鳥キャンパスにしかない図書も多くあります。そのような図書の利用にあたっては、現在は中百舌鳥キャンパスを訪れる、または他の図書館を利用する必要があり、学生の負担となっています。

V 課外活動に関する要望

9. グラウンド南側に投光器を設置すること

本学のグラウンドは北側にしか投光器が設置されておらず、南側には外灯しか光源がありません。また、ダイヤモンドや背の高いフェンスは南側に設置されているため、一部のクラブ・サークルの活動に支障をきたしており、安全性に問題があると言えます。

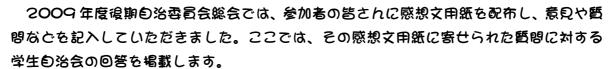
10. 合宿所を整備すること

合宿所はクラブ・サークル活動の発展に貢献し、学生の課外活動を充実させるものです。 しかし、合宿所は大変老朽化が進んでおり、現在の状況では安全に利用することはでき ません。



感想文用紙に寄せられた







ステージ管理委員会の項目について、なぜ 2010 年度に再購入することを目標としたんでしょうか。委員会の発足から購入までの期間は適切でしょうか。管理方法が確立されていないうちから再購入しても、今のような管理状況ではすぐに傷んでいくのではないでしょうか。

初めて2010年度にステージを再購入することを明記したのは2009年度前期自治委員会総会の決議です。これは当時最も老朽化が進んでいたステージに合わせたためこのようになりました。また、以前から話し合いを行ってきており、ステージの管理方法を再購入までに確立する予定です。





抗議文(*1)を提出したことに対して自治総での承認等はなかったが、勝手に提出してよいものなのか?

当時、大学はこの学部再編について大学は学生に意見を求めるようなことをしておらず、また学生に具体的な情報を公開していませんでした。学生自治会では大学のそのような姿勢に対して抗議すると共に、学生に対する情報公開・現状説明などを要望しました。

学生が大学改革案に対して意見を持てるようにするために、最低限必要な行為であったと考えています。



(*1) 学生自治会では 2009 年 10 月 30 日に、「大学による学部再編の検討」に対する抗議という文書を大学に提出しました。



工学部教員紹介冊子についてで、理学部や生命環境科学部では同様の活動はする予定がないのか書いてほしい。

学部ごとの活動は、学生の皆さんから寄せられた意見や学生生活を送る上での問題を考慮し、どのような活動を行うかを検討しています。現在理学部や生命環境科学部にて教員紹介冊子のような活動を行う予定はありません。





立て看板の管理について、白鷺祭・友好祭実行委員会と共に管理局を設置したとあるが、具体的にどのような連携をとったのか?

立て看板の貸し出し業務などは白鷺祭・友好祭実行委員会が行っています。その他、立て看板の修理や新造、強風時における撤去などを協同で行ってきました。





いつも思うのですが、書記局費もうちょっと減らしてもいいのでは…執行率もいつも低いように思うのですが。気のせいですか。

会計年度の途中であるため、中間会計報告の時点ではこのようになっております。また、予算編成の際は前年度の執行額を考慮して予算額を定めています。







友好祭と白鷺祭とで援助金に差があるのはなぜか。

援助金は、援助を必要とする団体が企画を行う際にどれだけの費用が 必要かということを、各団体の担当者と話し合った上で決定しているた めです。





執行率が0%であるものについての説明を聞きたいです。

中間会計報告の段階で執行されていない項目に関する説明は以下の 通りです。

クラスオリエンテーション費: クラスオリエンテーションを実施する団体間で行うクラスオリエンテーション会議で使い道を決定するため、現在は執行されていません。

援助金で執行されていないもの: 相手の団体の会計年度などの都合により援助金をまだ渡していません。

OA 機器購入費: 学生自治会室のパソコンが旧式であるため故障することが考えられ、その際の修理費として予算を編成しましたが、中間会計報告までの間に故障しなかったため執行していません。

備品: 机を購入する予定ですが、現在机を選定中です。

大型 PA 再購入実行委員会: 各団体の会計年度の関係上、中間会計報告までの間に執行していません。

ステージ管理委員会: ステージ管理委員会の運営が後期自治委員会総会までの間に確立されなかったため執行していません。



その他、大学改革案に関して「府大改革案の部分のことで、もっと学生に対して報告がほしい」や「文系の廃止へ対する抗議」などの意見などがありました。学生自治会では昨年 12 月の中旬から下旬にかけて、大学改革案をまとめた冊子の配布や、大学改革案に対するアンケートの実施などを行なってきました。今後の活動については、集めたアンケートの意見などを参考に現在検討しています。

編集後記



2010年 1月 9日 初版 第一刷発行

発行所・印刷所 : 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス学生自治会

大阪府堺市中区学園町 1-1

大阪府立大学中百舌鳥キャンパス

B12 棟 (学生会館) 2 階 学生自治会室

TEL: 072-275-4301 (内線 2745)

FAX: 072-257-4301

E-mail: ziren@cd6.so-net.ne.jp 携帯では⇒

URL: http://zichikai.ehoh.net/



落丁、乱丁本はお取替えします。B12 棟学生自治会室までお越しください。